



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月1日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 あみやき亭  
コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 千々和 康

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月10日

TEL 0568-32-8800

平成26年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	13,675	12.1	1,529	7.7	1,562	7.9	1,060	17.4
26年3月期第2四半期	12,200	6.0	1,420	38.5	1,448	37.4	902	47.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,060百万円 (17.4%) 26年3月期第2四半期 902百万円 (48.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	154.78	—
26年3月期第2四半期	131.81	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成26年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益を算出しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
27年3月期第2四半期	18,937		15,100		79.7	2,204.88		
26年3月期	17,991		14,211		79.0	2,075.08		

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 15,100百万円 26年3月期 14,211百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2,000.00	—	25.00	—
27年3月期	—	25.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を実施しております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	14.0	2,625	△2.4	2,700	△2.0	1,541	△8.2	225.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	6,848,800 株	26年3月期	6,848,800 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	— 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	6,848,800 株	26年3月期2Q	6,848,800 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を実施しております。上記の株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提条件及びその他関連に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により、企業業績や雇用情勢の改善がみられ、景気回復基調にあります。夏場の天候不順や消費税率の引き上げによる駆け込み需要の反動に加え、ガソリン価格の高騰、輸入原材料の上昇など消費マインドの低下が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、消費税増税の影響は総じて限定的で、外食需要は堅調に推移しましたが、円安などによる原材料価格の上昇並びに人員確保問題や人手不足を背景とした人件費関連コストの上昇など依然として取巻く経営環境は厳しい状況となっております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、「お客様に喜んでいただき、選んでいただく店舗作り」を目指し、「食肉の専門集団」の強みであるカット技術を活かして価格据置で品質向上に努め、お客様にとって価値感・満足感のある商品を提供するなど他社との差別化を図り、既存店の強化を行ってまいりました。

店舗数につきましては、株式会社アクトグループの新規連結による12店舗に新規出店4店舗（あみやき亭三郷店、どんどん磐田店、ブラックホールセントラルロード店、すしまみれセントラルロード店）を加えた結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は212店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高13,675百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益1,529百万円（前年同期比7.7%増）、経常利益1,562百万円（前年同期比7.9%増）、四半期純利益1,060百万円（前年同期比17.4%増）と増収増益となり、過去最高となりました。

また、株式会社あみやき亭単体の当第2四半期累計期間の業績は、売上高10,562百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益1,234百万円（前年同期比1.0%増）、経常利益1,281百万円（前年同期比0.4%増）、四半期純利益839百万円（前年同期比12.4%増）と増収増益となり、過去最高となりました。

#### <焼肉事業>

焼肉事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、3店舗新規出店した結果、137店舗となりました。内訳は、あみやき亭103店舗、どんどん14店舗、かるび家5店舗、スエヒロ館9店舗、ほるとん屋2店舗、ブラックホール3店舗、ほうらず1店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値感・満足感のある商品」の提供に努め、既存店強化に努めてまいりました。

また、「食肉の専門集団」である強みを活かした名古屋市場直送の新鮮な朝挽きホルモンをその日のうちにお客様へ提供する牛タンとホルモン専門店の「ほるとん屋」におきましては、引き続きお客様に満足感・価値感のあるものとなるよう更に商品の磨きこみを行っております。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する焼肉「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である強みを活かして「チェーン店価格」での商品を提供しております。

以上の結果、焼肉事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,508百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

#### <焼鳥事業>

焼鳥事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、56店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」であります。

焼鳥事業におきまして、以前より最優先事項として内部取り組みを行ってまいりましたが、その成果が出つつあります。引続き焼きの技術向上はもとより基本の徹底や接客・サービスのレベル向上に向けた社員教育の取り組みを行ってまいります。

以上の結果、焼鳥事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,878百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

#### <その他の事業>

その他の事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、1店舗新規出店した結果、19店舗であります。

内訳は、株式会社スエヒロレストランシステムが経営する、レストランの「スエヒロ館」6店舗、居酒屋「楽市」3店舗と株式会社アクトグループが経営する寿司業態の「すしまみれ」4店舗、ダイニング5店舗、イタリアンレストラン1店舗であります。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした「100%国産ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、引続き品質の向上に努めてまいりました。

居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

また、寿司業態、ダイニング業態、イタリアン業態とも快適な空間で食事を楽しんで頂くことを目指し、改修・改装に取り組むとともに都心に新規出店いたしました。

以上の結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,301百万円（前年同期比139.3%増）となりました。

なお、各事業への売上高については実績ベースにおいて記載しており、連結売上高に含まれておりますポイント引当金の影響を考慮しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は、18,937百万円となり、前連結会計年度末と比較し、946百万円増加しました。主な要因は現金及び預金の増加によるものです。

負債総額は、3,837百万円となり、前連結会計年度末と比較し、57百万円増加いたしました。

主な要因は設備未払金の増加によるものであります。

純資産総額は、15,100百万円となり、前連結会計年度末と比較し、888百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月1日付の平成27年3月期決算短信で公表いたしました平成27年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,124	7,875
預け金	72	91
売掛金	1	2
商品及び製品	51	53
原材料及び貯蔵品	196	186
繰延税金資産	183	198
その他	247	334
流動資産合計	7,878	8,741
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,656	4,607
構築物(純額)	327	317
機械及び装置(純額)	167	183
車両運搬具(純額)	17	14
工具、器具及び備品(純額)	158	148
土地	1,336	1,336
建設仮勘定	2	58
有形固定資産合計	6,667	6,666
無形固定資産		
ソフトウェア	1	1
のれん	679	656
その他	42	40
無形固定資産合計	723	699
投資その他の資産		
投資有価証券	3	4
長期貸付金	264	253
繰延税金資産	333	346
差入保証金	1,271	1,365
投資不動産	283	283
その他	564	577
投資その他の資産合計	2,722	2,830
固定資産合計	10,113	10,196
資産合計	17,991	18,937

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,042	842
未払金及び未払費用	1,056	1,244
未払法人税等	689	543
賞与引当金	131	135
役員賞与引当金	-	15
株主優待引当金	3	7
ポイント引当金	38	51
資産除去債務	2	-
その他	340	504
流動負債合計	3,305	3,343
固定負債		
負ののれん	0	0
繰延税金負債	24	29
資産除去債務	309	321
その他	140	141
固定負債合計	474	493
負債合計	3,779	3,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	9,310	10,198
株主資本合計	14,210	15,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
その他の包括利益累計額合計	0	1
純資産合計	14,211	15,100
負債純資産合計	17,991	18,937

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	12,200	13,675
売上原価	4,384	5,025
売上総利益	7,815	8,650
販売費及び一般管理費	6,395	7,120
営業利益	1,420	1,529
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	0	0
受取賃貸料	5	5
協賛金収入	9	18
その他	4	3
営業外収益合計	28	34
営業外費用		
不動産賃貸費用	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	1,448	1,562
特別利益		
受取保険金	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	7	4
減損損失	12	52
保険解約損	4	-
その他	3	-
特別損失合計	26	56
税金等調整前四半期純利益	1,422	1,506
法人税、住民税及び事業税	533	469
法人税等調整額	△13	△22
法人税等合計	519	446
少数株主損益調整前四半期純利益	902	1,060
四半期純利益	902	1,060



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	902	1,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	902	1,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	902	1,060

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、捕捉情報等は第2四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。